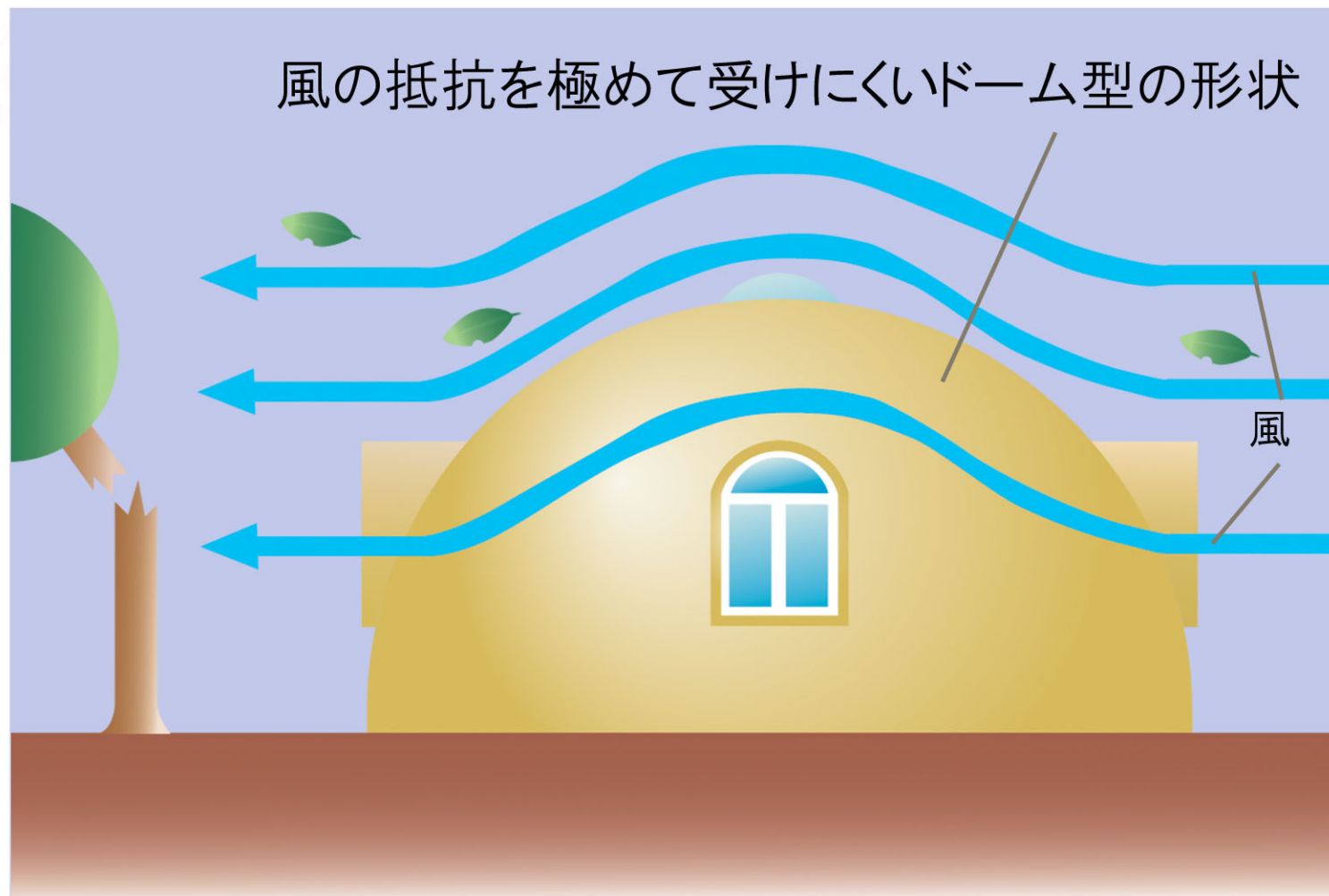


# 8

革命的な建物・ドームハウス13の特長

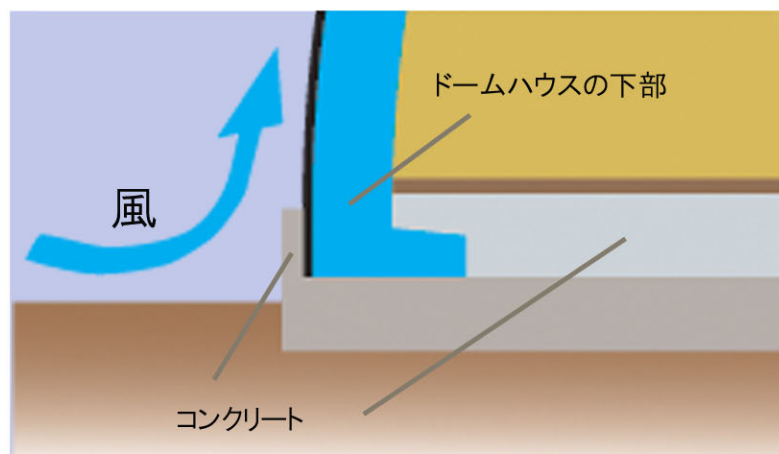
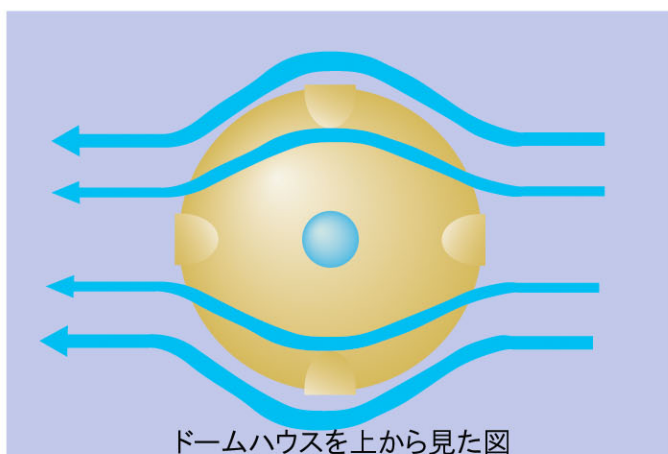
## 強風に強い



形状が流線型のドーム型のため、風をまともに受けにくくなっています。さらに、発泡ポリスチレンの底部をカギ状にして、コンクリート基礎に埋めることで、非常に強い台風にも耐えるのです。

■ドームハウスは風に強く、通常の場所であれば、台風ではびくともしません。ごく一部の強風地域（風速45m以上・沖縄の一部等）においても多少補強することで施工することが可能になります。上図や下図のようにドームが横から見ても上から見ても流線型をしており風を受

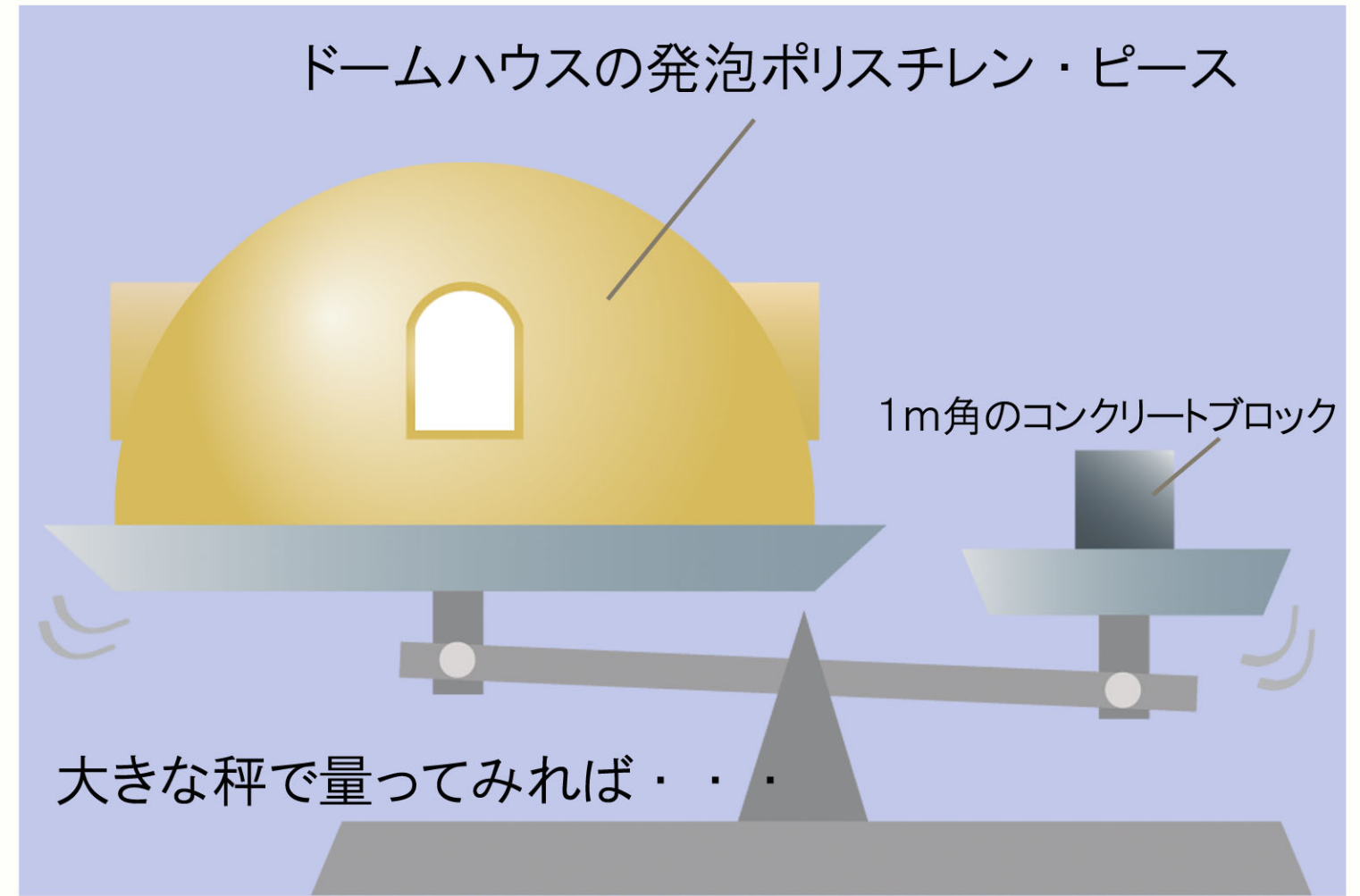
け流すため、風の抵抗を極めて受けにくく、また屋根の庇や雨樋などの突起物が少ないため、風の被害を受けにくいのです。ドームハウスの発泡ポリスチレン製ピースの下部は、下の断面図のように内側に向かって360度全てカギ状になっており、コンクリートで押さえる事で、強い風に対して効果を発揮します。



# 9

革命的な建物・ドームハウス13の特長

## 超軽量素材



大きな秤で量ってみれば・・・

ドームハウスは発泡ポリスチレン製のピースを組み立てて造ります。発泡ポリスチレンの重量は1棟合わせて約800kgにしかありません。軽量であることで、運搬・施工・耐震に効果を発揮します。

■大変軽量であるということはドームハウスの大きな特徴のひとつです。ドームの構造材としての発泡ポリスチレンの重量は800kg程度であり、これは70cm角のサイコロ型のコンクリートの重さにしかならないのです。いかに軽いかがお分かりでしょう。

左下の写真のように、10トンのトラック1台に1棟分の全ての発泡ポリスチレン製ピースを積み込むことが出来ます。積み込みも人数さえいれば人力で行なうことが可能です。3人いれば、フォークリフトやクレーンが無くても、右下の写真のように軽々と運搬・積み込みができます。

